

2月に入りました。先週末に来た野球部の朗報からバタバタと日が過ぎていますが、「広報かとう」の表紙を3年生の岡本君が飾ってくれました。先日の加東みらいこども園での交流行事で訪問したときの写真です。良い表情で映っています。またもち麦関連の記事とこども園で好評だった生活科学科考案のスープの話題が掲載されました。そして、読売新聞の方が



野球部選抜大会出場に関する号外を持ってきてくださり全校生に配布させていただきました。今回は大会まで期間



があるので、メディアにも取り上げられることも多くなると思います。2月1日のLHRでは、私の映像を流していただき、応援協力をお願いと挨拶等の礼儀作法に気を付け高校生らしい振る舞いをする事、さらにはSNSなどの書き込みによるトラブルを避けるなど普段から気をつけている点の再確認のお願いをしました。選考していただいた実感は大会が近づけばもっと出てくると思うのですが、選手の皆さんは準備をしっかりと進めてくれていると思います。気運を盛り上げていきましょう。

2月1日には体育科の大野先生が兵庫県優秀教員表彰を受賞されました。体育科の取組を「兵庫教育」という機関誌に発表し、広く発信したことで部活動指導や授業等ICT活用を進めたことが理由です。日頃の精進の賜です。おめでとうございます。



また2月2日には兵庫県教育委員会体育保健課から、夏の兵庫県大会教育委員会表彰の新しい優勝カップが届きました。顔が映るくらい輝いており、素晴らしいカップです。古いカップは明石球場に飾られるとのことで持って帰られました。本校が最初に飾る学校になりました。夏の大会連覇に向けて選抜大会をしっかりと戦い、弾みを付けたいですね。校長室にお立ち寄りの際は是非ご覧になってください。



2月の家庭クラブ食育カレンダーは「自分に合った間食を」というテーマでした。間食の選び方、正しい摂り方やカフェインのメリット、デメリットなど、過剰摂取とタイミングに注意することを強調していました。



カレンダーが2月になるといよいよ今年度(令和4年度)も終わりに近づいていることを実感させられます。

2月3日からは推薦入試、特色選抜入試の願書受付が始まりました。初日の受付数は体育科66名(定員40名)、生活科学科28名(定員20名)、看護医療類型30名(定員24名)です。すでに定員を超えており、関心の高さに身の引き締まる思いです。受検生の皆さんには体調管理に努めていただき、試験本番で持てる力を発揮してもらいたいと思います。頑張ってください。

今週末は女子バスケット、男女バレーが県新人大会です。インフルエンザが猛威を振るいはじめ、新型コロナ感染に加えて感染数は一定数います。コンディションを整え、力を発揮してきて欲しいと思います。また、陸上部は大阪で行われる室内競技に出場してきたようです。良い刺激になったでしょうか。先週に比べ少し寒さは和らいだもののケガには十分に気を付けて頑張ってください。生活科学科は2月4日加東市主催の「人権と協働を考えるつどい」でまちづくり活動についての発表をしてきました。放送部安達君は、かとう手話フェスタ2022で司会を務めたそうです。6日からは生活科学科2年生がインターンシップに出かけ、7日からは体育科1・2年生がスキー実習に行きます。多くの場面で生徒達の活動は継続していきます。地域の皆様に見守られながら活動できていることに感謝して頑張っていきたいと思います。